

# かがやく

— あなたも、わたしも —



特集  
1

父親が変われば、この社会も変わる。

特集  
2

ワーク・ライフ・バランスは無理!?

連載

かがやく個性たち



# 父親が変われば、この社会も変わる。



とかく男女共同参画について考えるとき、まず女性の問題としてとらえてしまうのが一般的です。ここに、そうではないんだ、極めて男性の、それも父親の問題なのだという観点で父親の育児にフォーカスし、数々の提言と実践を行なっている安藤哲也さん(NPO法人ファザーリング・ジャパン代表)をお招きしました。

我孫子市男女共同参画講演会は、あびこ女性会議と市の主催で、平成21年12月12日(土)、アピスタホールにて開かれました。安藤さんの豊富な事例も交えた興味深いお話は、会場のまさに子育て真っ最中のご夫婦に確実に深く届いたようです。以下は、講演よりピックアップしたものです。

## ■男性は子供ができれば、OS\*を入れ替えよう。

多くの男性は父親になっても、古いOS(夫、仕事人間etc)のままです。女性は出産という経験でいわば最新の母親OSをインストール(学ぶ)するのに比べ、男性は学ぶチャンスがありません。本やネットを探しまわった後、結局は自分の父親の古いOSをインストールしてしまうケースもみられます。

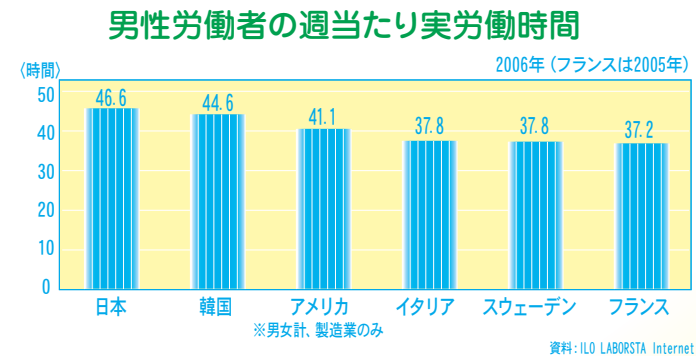
※ここで安藤さんは人間の行動を司る脳の働きをパソコンの基本ソフトになぞらえています。

## ■婚活に子育て力は必須!?

子育ては母親の仕事だろ?なんて言っている男はモテない、ということが男性の間でさえ、もうわかってきています。女性のニーズは、出産してもキャリアは捨てたくない、働きたい、育児と一緒に楽しんでやってくれる男性がいい、というところにあります。

## ■サービス残業が年間400時間(日本人男性労働者一人当たり)この時間とエネルギーを子育てに振り向ければ日本は確実に変わる。

仕事と同等に育児を重視したい男性は7割いるが、現実には仕事優先の人が7割。子育て期(6才未満の未就学児がいる)の父親の4人に1人が週60時間以上の長時間労働。このため日本の男性の育児時間は1日平均30分、これは先進国で最下位。この父親の育児時間を2017年までに2時間30分にしようというのが内閣府の数値目標です。



## ■父親が子育てに参加すると家族が変わる。

- ・母親の育児ストレスが軽減される。
- ・夫婦のパートナーシップが強まる。
- ・子どもが社会性を身につけるよきモデルとなる。
- ・父親自身の自活力がつく、老後も安心。
- ・仕事で有効な能力も身につく。人脈や引き出しが増える。
- ・父親自身の世界が広がり、人生が楽しくなる。
- ・そして育児参加をするほど出生率は上がる。



子どもたちもすっかり引き込まれて...講演終了後、安藤さんによる絵本の読み聞かせが行われました。

FJ代表 安藤哲也(あんどう・てつや)さん  
1962年生まれ。12歳(女)9歳(男)1歳(男)の父親。大学卒業後、出版やIT企業で働く。06年11月、社員の傍ら、父親の子育て支援・自立支援事業を展開するNPO法人ファザーリング・ジャパン(FJ)を立ち上げ、代表に就任、現在に至る。著書に『パパの極意?仕事も育児も楽しむ生き方』(NHK出版)他多数。

### 《アンケートより》

- ・子育ては期間限定だとあらためて知らされました。少しでも子どもの笑顔を見るために、これからも育児を頑張りたいと思います。(40代男性)
- ・「パパを楽しむ」というコンセプト、サイコーです。これからも存分に楽しみます!(30代男性)
- ・「子どもは社会からの預かりもの」に衝撃を受けました。(30代男性)
- ・子育てに加えて妻を助ける、妻のメンタル面についてのサポートも必要であると感じました。(40代男性)

# ワーク・ライフ・バランスは無理!?



ワーク・ライフ・バランスとは、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、様々な活動を自分の希望するバランスで実現できる状態のことです。

ひとつ「働き方」を変えてみよう!



## 多様性を尊重した活力ある社会

☆ここでもう一度考えてみませんか。

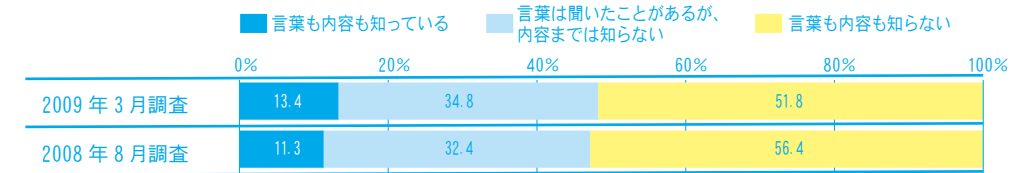
今あなたは、人生のステージに応じて、仕事にやりがいや日々の生活での充実感を感じながら様々な生き方を選択できる社会を想像できますか。国は、2006年よりワーク・ライフ・バランスの実現を目指し、現在ではその活動も活発になってきていますが、私たちは毎日生活しながら実感しているでしょうか。

☆「絵に描いたもち」じゃないですか。

ワーク・ライフ・バランスに関する国民の意識調査によると、取り組みへの気運と現実のズレが見られます。

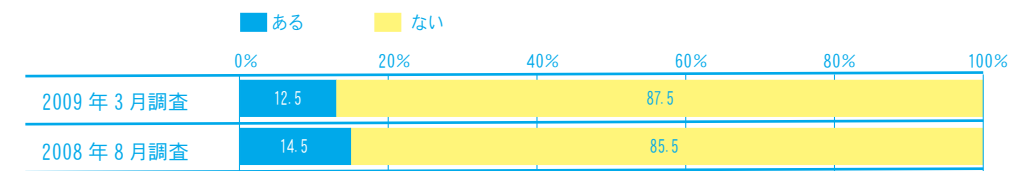
\*あなたは、

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をどの程度知っていますか。



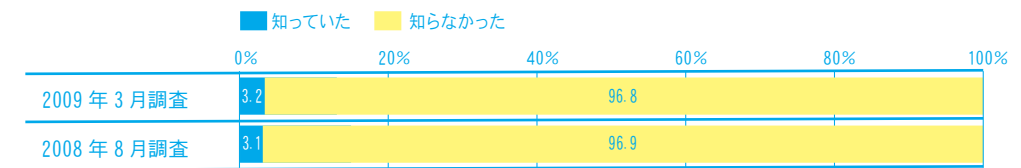
\*家族や友人・知人との会話で、

あなた自身または話し相手から「ワーク・ライフ・バランス」という言葉が出てきたことがありますか。



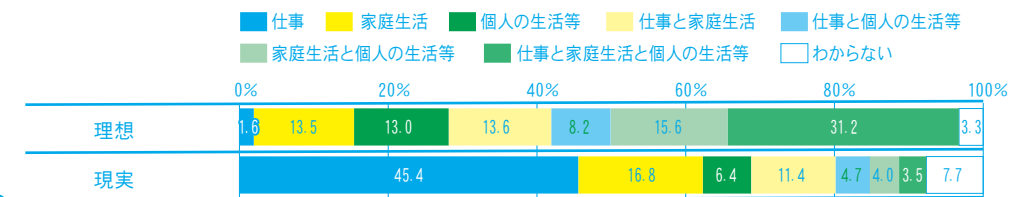
\*「カエル! ジャパン」キャンペーンを知っていますか。

(注)「カエル! ジャパン」とは、労働時間短縮に向けた取組みや、柔軟な勤務体制の導入など、仕事と生活の調和を実現するための国民運動です。



\*あなたの日常における、仕事・家庭生活・個人の生活等の優先度についてお聞かせください。

あなたの希望に最も近いもの、あなたの現実(現状)に最も近いものをそれぞれ1つ選んでください。



備考: 内閣府「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)と顧客ニーズに関する意識調査」(平成21年3月)より

☆ここで、おもしろい取り組みを紹介します。

八都府市(埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市)では、まず、できることから始めようということで、ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーンの中で、あなたの実現したい「生き方」「働き方」を宣言して下さいという一言宣言を募集しました。

### 最優秀賞

「いない仕事は仕分けて見直し、定時退社!」

### 優秀賞

- 「残業目標『昼までに!』年休目標『ひるまでに!』」
- 「家庭で充電、仕事で放電、たまには友と夜間に蓄電」
- 「仕事は定時までに燃え尽きよう」
- 「子どもの寝顔じゃなくて、笑顔を見るためにうちに帰ろう」
- 「保育園、送り迎えは父・母交替で子どももわくわく!」
- 「親子一緒に早寝!早起き!朝ごはん!」



\*「おやじ&おふくろの会」は、いつ頃どのように結成されたのですか？

会の基礎になる「おやじの会」は平成元年4月に発足しました。結成前後の昭和60年代は、全国あちこちの中学校で校内暴力事件が起こり解決策に悩んでいた時代でした。湖北台中学校（以下台中という）のPTA会長をしていたちょうどその頃、新聞記事で調布市内のある中学校で「おやじの会」を立ち上げこの問題に取り組んでいることを知り、校長先生の協力を得て「おやじの会」が誕生しました。

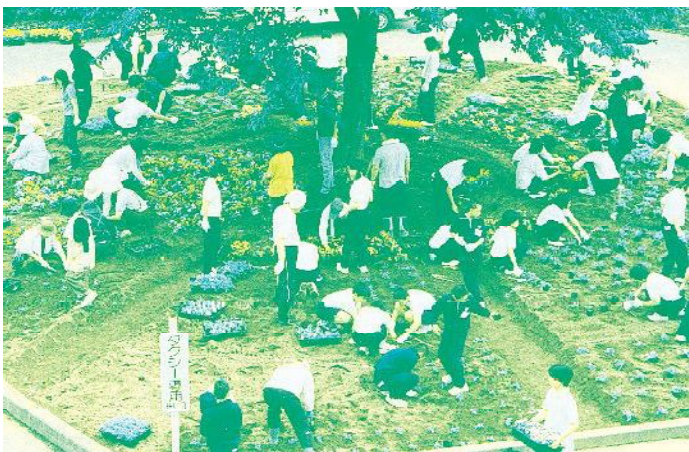
「父親の学校への関わりの重要性」に賛同して100人近いおやじ達が集まりました。月1回土曜日の夜、主にインディアカなどのスポーツで汗を流し、缶ビール1つで校長先生、教頭先生を囲み、話し合いの機会を作りました。会社人間から地域活動へのきっかけづくりにもなりました。

その後、「おふくろ」も仲間に入れてほしいと母親たちの申し出で「おやじ&おふくろの会」に改称し現在に至っています。今年で22年になります。

\*どんな活動をしているのですか？

#### ゴミ拾い

毎月第2土曜日の夜はスポーツを、翌日曜日は、湖北駅前～樺通り～台中まで空き缶やゴミを拾い焼却炉で燃やすクリーン作戦を行ってきました。ところが、ダイオキシンの問題が取り上げられ台中の焼却炉が使えなくなりクリーン作戦は中止せざるをえなくなりました。また、毎年3月には、台中生と街路樹の<sup>ます</sup>柵に芝桜を植えていました。



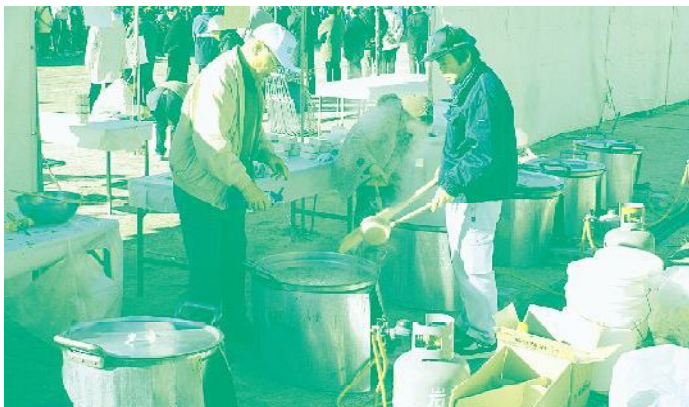
花壇

そのうち湖北駅前ロータリーに花壇を作りたいという意見が出て、我孫子市に「ロータリーの花壇化」を申請し受理され、道路課による土壌改良や花苗の提供があり実現しました。その後は「台中生による花壇設計コンクール」を開催し、年2回、台中生と一緒に花壇造りを楽しんでいます。今も「ふるさと・街づくり」参加の伝統が台中に根付いています。

#### けんちんうどん・豚汁・すいとん

台中PTAのバザーへの出店を頼まれ、手打ちの「けんちんうどん」を作りました。決め手は前日に捏ね、一晚寝かせることで、全員の意気込みが伝わり「旨い!」と好評でした。以来「けんちんうどん」は恒例となりました。

また、新春マラソン大会実行委員から、「豚汁」を頼まれ、4年前から「すいとん」も加えた大鍋6個でおやじ&おふくろの共同作業で楽しんでいます。温かい豚汁やすいとんは毎回750食が完売する好評さです。



\*長く活動が続いている秘訣や、うれしかったことは？

「けんちんうどん」や「豚汁・すいとん」の収益が、会の運営資金です。花壇造りの経費や、「台中生による花壇設計コンクール」の賞状や賞品（図書券）に充当します。会費なし。作業に汗して、楽しく語り合うのが、続いている秘訣でしょうか。

花壇造りには引率の先生と台中生50名位、PTAの父母も一緒に参加して、楽しく賑やかに作業をします。美しく彩られた花壇は、子どもや地域の人の心を和ませていると思います。子ども達から元気に挨拶されるのが一番うれしいですね。

\*「おやじ&おふくろの会」の将来は？

現在会員は15名前後です。50代から70歳ホヤホヤまでです。PTA役員を終えて入会される方もあり、若返りを期待しています。台中生との共同作業も伝統になっていますから、永久に会が続いていくと明るい希望を持っています。

私たちの会は、地域の子どもの健全な育成に役立ちたいと活動し、子ども達から沢山の元気を貰っています。これからもみんなで力を合わせて楽しく地域活動を続けたいと思っています。

#### 編集後記

ワーク・ライフ・バランスってシーソーの両端で「ワーク」と「ライフ」が上下しているのをイメージしてしまいましたが、そのような二項対立的発想はちょっと違うと思う。「ワーク」は大きな「ライフ」のなかのひとつのパートにすぎない、もっとも「ワーク」がなければ「ライフ」も成立しませんが。（元ハードワーカー）